

にほんご

高校日语专业基础阶段系列教材

新标准日语读解教程

总主编 / (日) 谷光忠彦 刘金钊

主 编 / 刘金钊



附赠 (权威版)
学效测评卷



 大连出版社
DALIAN PUBLISHING HOUSE

新标准日语读解 教程

总主编：(日)谷光忠彦 刘金钊

主 编：刘金钊

副主编：李晓燕 范业红 李 芳

王潇潇 辛宇峰

 大连出版社
DALIAN PUBLISHING HOUSE

© 刘金钊 2012

图书在版编目(CIP)数据

新标准日语读解教程 / 刘金钊主编. —大连: 大连出版社, 2012.4
ISBN 978-7-5505-0139-3

I. ①新… II. ①刘… III. ①日语—教材 IV. ①H36

中国版本图书馆CIP数据核字(2011)第106976号

出 版 人: 刘明辉
策划编辑: 张 岚
责任编辑: 李 岩 张 岚
版式设计: 林 洋
封面设计: 林 洋
责任校对: 李方方
责任印制: 史凌玲

出版发行者: 大连出版社

地址: 大连市西岗区长白街10号

邮编: 116011

电话: 0411-83620416/83627430

传真: 0411-83610391

网址: www.dlmpm.com

邮箱: zlwfd@163.com

印 刷 者: 大连美跃彩色印刷有限公司

经 销 者: 各地新华书店

幅 面 尺 寸: 185mm × 260mm

印 张: 15.5

字 数: 350千字

出 版 时 间: 2012年4月第1版

印 刷 时 间: 2012年4月第1次印刷

书 号: ISBN 978-7-5505-0139-3

定 价: 36.00元



前言

在日语学习中，提高听说能力无疑十分重要，但是，在中日两国之间政治、经济、文化等诸多领域的交流深入发展的今天，如何提高文章的阅读理解能力亦是一个不可忽视的迫切需要解决的课题。且不说日语能力测试、商务日语考试、赴日留学人员选拔考试、高校日语专业四八级考试等各类考试中读解试题均占较大比重，仅是一项政治交涉、一次商务谈判……其结果都要以书面形式记载下来，就足以看出，一个出色的日语工作者不仅需要听、说顺畅，更要具备较强的文章阅读能力。

近年来，我国的日语教育迅猛发展，师资队伍庞大、学生人数众多、科研著作丰厚，并且总结出了“听说领先教授法”、“句型教授法”等有效的教学经验。但是，诸如此类的教学经验，编者认为只是在语法结构上“兜圈子”、“打转转”，忽视了引导学生着眼篇章结构的习得。当然，这种误区的产生并非人为因素，主要是我国日语教育起步较晚，在全面提高学生的语言运用能力，特别是如何培养学生的文章阅读能力方面，尚缺乏经验的积累，导致了教学方法的偏颇。

编者在多年的日语教学实践中深深体会到，要提高学生的文章阅读理解能力，必须把握以下几个重要环节。

(1) 加大写作课和阅读课的比重，使学生正确把握写作与阅读的关系，熟悉文章的各类体裁、题材和篇章结构。

(2) 日语的口语语言和书面语言区别比较明显，在教学中应重视书面语言的教授。

(3) 词汇量的多少会直接影响阅读速度，应特别加强外来语、动词和接续词等词汇的教授。

(4) 日语的表达方式比较暧昧，要使学生深刻理解日语暧昧表达习惯的真实含义。

(5) 了解日本人的语言表达思维，而思维受文化背景的制约，要重视对日本社会文化和日本人的思维方式、行为模式的分析与研究。

基于以上几点，本书在编写过程中，着重突出了以下几个特点。

(1) 本书适用于中、高级日语学习者，尤其对备考包括日语能力测试在内的各类日语考试的学生有很大的学习参考价值。

(2) 重点介绍了日语篇章结构知识，有助于开阔正确理解文章内容的思路。

(3) 简明扼要地归纳了与阅读理解相关的语法、句型、词汇等语言知识，可为快速阅读扫清语言知识障碍。

(4) 介绍了快速阅读的技巧和训练方法。

(5) 收录的文章题材多样，涵盖了日本社会文化现象，有助于读者对现代日本社会的了解。

(6) 内容丰富，知识量大，有利于学习者反复练习。

(7) 编排合理，内容由浅入深，篇幅由短到长，循序渐进。

(8) 重点突出，每篇文章后面都用中文注释了文章中出现的重点语句，有助读者理解。

本书的编写和出版凝结了编者大量的心血，由于时间关系，疏漏之处在所难免，敬请广大读者批评指正。

编者

2012年1月于日本



目 录

◆第一章 基础知识篇

第一节 何为“文章读解”	2
第二节 文章读解的顺序和方法	3
第三节 文章的种类	6
第四节 文章的结构	7
第五节 说明文和论说文的读解方法	15
第六节 有助于文章读解的语法基础知识	20

◆第二章 基本技术篇

第一节 快速获取信息技术	90
第二节 寻找要点和关键词	115
第三节 预测内容	126
第四节 句子和段落的排列组合	131
第五节 指示词	137
第六节 同义句	148
第七节 把握文章的主题和大意	152
第八节 作者想要表达的意见	166
第九节 选择与文章内容相符或不符的问题	176
第十节 填空问题	190
第十一节 识别图表问题	198
第十二节 商务文章的读解	220

◆参考答案	230
-------	-----

◆参考书目	240
-------	-----

附: 学效测评卷



第一章

基础知识篇





第一节 何为“文章读解”

所谓文章读解，即通过文章内容正确理解作者的表达意图。因此，对文章的内容仅限于粗枝大叶、模棱两可的理解是不行的。

为了正确地理解文章内容，首先需要有坚实的日语语言知识。另外，由于中日文化之间存在着较大的差异，还需要把握日本社会文化的概况，特别需要了解日本人的思维方式和行为模式特点，切记依照自己的思维方式主观臆断。总之，要完全忠实于原文，根据文章内容努力理解作者的意图。

另外，就是要掌握文章的形成过程。一般来说要抓住以下四点：

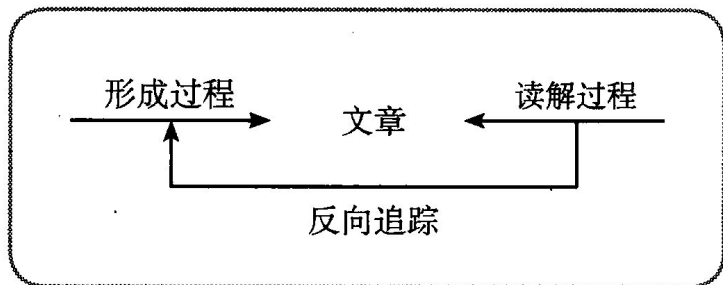
1. 把握文章的主题；
2. 清楚论证主题的素材；
3. 分析篇章结构；
4. 掌握语言表达的特点。读解过程中，在考虑文章形成过程的同时，要采取跟踪的方法，从反向追踪以上四项要点。

归纳以上要点，总结出：

读解 = 通过文章内容正确理解作者的表达意图。

具体地说，要准确把握“主题⇔素材⇔篇章结构⇔语言表达特点”，即在考虑文章形成过程的同时，像追踪犯人一样反方向理解文章内容。

参看下图便可一目了然。





第二节 文章读解的顺序和方法

一般来说，读书可分为精读和泛读两种，为培养阅读能力，两者皆为重要，缺一不可。精读是读解的基础。为了理解文章的全篇内容，必须首先准确理解段落大意，并要考虑段落与通篇的连接关系。因此，要养成“通读⇒精读⇒第二次通读”的阅读习惯。

第一次通读的目的是把握文章的大致内容，了解作者的表达意图。精读是在理解文章大致内容的基础上，从各个角度客观地确认对文章内容理解的是否正确，如有理解错误可及时纠正。第二次通读要归纳通篇内容，重点理解文章的主题。

以上是文章精读的基本顺序。但是，根据阅读的目的、文章的体裁以及文章的内容等，阅读方法不可千篇一律。因为有的文章主题一目了然，有的文章只需了解大致内容，有的文章则需把握重点部分。但是，要理解内容较难的文章，就应该考虑综合使用上述阅读方法。

归纳上述内容，总结出：

精读(读解的基础)=1. 通读(直观理解文章内容)⇒2. 精读(①理解句意；②弄清句子与句子之间的关系；③把握段落与段落之间的关系；④了解篇章结构；⑤抓住文章大意；⑥把握主题；⑦理解关键词和语言表达形式)⇒3. 第二次通读(①确认主题；②理解通篇内容)。

把握主题的方法

1. 通读

重点理解作者的表达意图。

2. 把握主题思想

为了把握文章的主题，首先要注意文章中反复出现的关键词，很多时候该关键词即表达文章主题思想。



例文1

トンボほど飛行の上手な昆虫がほかにいるでしょうか。緩やかに飛行していたかと思えば、急にスピードを上げたり、上昇したり、トンボ返りもお手のもの。蝶と比べてみれば、蝶は四枚の羽を同時に上下させているので、一瞬浮力を失う時間ができてしまいます。このために、ひらひらと、上がったたり下がったり、波打つような飛び方になってしまうのです。

一方、トンボは前後の羽を別に動かして飛行しています。もう少し詳しく言えば、完全にたがいちがいになっているのではなく、後翅^{こうし}が前翅の動きをおいかけるような羽ばたきを行っているのです。この方法で毎秒二十～三十回羽ばたいて飛べます。

【ポイント】

这篇文章中反复使用了「トンボ」这个词，因此可以考虑本篇文章是围绕「トンボ」展开叙述的。另外，根据「飛行」、「飛び方」、「飛ぶ」等词频繁出现，可推断本文的主题为「トンボの飛行」。

例文2

今や海外旅行は当たり前、それに加えて留学熱の高まりのこともあって、日本の若者たちが世界中の街を歩いている姿も目立ってきた。彼らは海外の人の目には、どんなふうに映っているのだろうか。「あなたの国の若者に比べて、日本の若者にどんな印象を持っているか？」という質問に対する答えを紹介しよう。

【ポイント】

为了把握主题，更要注意文章中提示主题的句子。本文中「彼らは海外の人の目には、どんなふうに映っているのだろうか」即为提示主题的句子，根据这句话即可判断出「海外の人の目に映った日本の若者たち」是本文的主题。

3. 分段理解文章内容

归纳段落大意，抓住重点段落内容。一般来说，提出问题的段落、对比叙述的段落、叙述结论的段落为重点段落。另外，举例说明的段落一般为附加段落。

4. 归纳主题

- ① 分清重点段落和附加段落；
- ② 理解重点段落的语句；
- ③ 注意接续词的功能，把握段落之间的关系；
- ④ 防止主观推断和想象。



例文3

日本では、課長とか部長とか上役が引っ越しをする時、その手伝いをしなくてもいいという職場がどのくらいあるだろうか。無言の強制で手伝いをさせられるというところが多いのではないだろうか。

日本では、役職関係は、機能としての関係ばかりではなくて、身分的な上下関係まで含んでしまう。ある会社に優れた俳句を詠む社員がいて、すでにいくつも句集を出しているほどだったが、部長とか、そういったえらい役職にはついていなかった。最近では企業でも文化活動が盛んになってきているが、その人が上役から言われて句会を開くことになった。そこに部長や役員も顔を出して、それぞれ一句をひねることになったのである。

いざ俳句を批評しあう段になると、当のベテランは上役の句に対して、「ここはよい」とほめることはできても、「ここは悪い」と批評することができない。上役のほうはまるっきり素人なのに部下の俳句についてえらそうに批評する。こういう珍妙な風景があったのだが、日本ではほぼこれが一般的なのではないだろうか。

企業と文化活動とは全然別なものであるにもかかわらず、その別なものにまで企業の上下関係がかぶさってくるところが誠に日本的で、解決しなければならない大きな問題である。

【ポイント】

本文中「上役」一词反复出现，同时「役職関係」「機能としての関係」「身分的な上下関係」「企業の上下関係」等与「関係」相关的词语出现频率也很高。因此，本文主题可考虑为「企業での、機能としての上下(役職)関係と身分的な上下関係」。

分析本文的具体内容：

第一段叙述了「役職関係が個人間の関係に及ぶこと」。

第二段论述了「日本では役職関係は、機能としての関係ばかりではなくて、身分的な上下関係まで含んでしまうことと、ある会社で文化活動として句会が開かれることになったこと」。

第三段归纳为「文化活動にも役職関係が及ぶこと」。

第四段总结出「企業と文化活動とは全然別なものであるにもかかわらず、そこにまで企業の上下関係がかぶさってくる」，并提出「これは解決しなければならない大きな問題である」。

归纳以上要点，本文主题应为：

「日本では役職関係は、機能としての関係ばかりではなくて、身分的な上下関係まで含んでしまう。最近では企業でも文化活動が盛んになってきている。企業と文化活動とは全然別なものであるにもかかわらず、その別なものにまで企業の上下関係がかぶさってくる。これは解決しなければならない大きな問題である。」。



第三节 文章的种类

有特定对象的文章

1. 通信：邀请信、慰问信、请求书、感谢信等
2. 通知：通知书、委任状、任命书等
3. 申请：请假条、申报材料等
4. 报告：向上级提交的报告
5. 证明书：驾驶证、毕业证书、获奖证明、资格证书、收据等
6. 协议、合同

无特定对象的文章

1. 说明文：说明文、时事解说、新刊介绍等
2. 报道：时事报道、新闻报道
3. 小说、散文、诗歌、童话、剧本、文艺评论
4. 传记、语录、回忆录等
5. 日记、备忘录、读书笔记、研究笔记等
6. 声明、宣言
7. 论说文、评论、社论
8. 广告、标语
9. 格言、教典
10. 告示、通知
11. 研究报告、论文
12. 法规、法令、条例



第四节 文章的结构

文章结构的基本类型

1. 二段式

- ①头括式 = 前面段落(叙述主张、结论)⇒后面段落(说明理由和根据)【多用于论说文】
- ②尾括式 = 前面段落(说明理由和根据)⇒后面段落(叙述主张、结论)【多用于论说文】

2. 三段式(序论、正论、结论)

- ①序论(导入、提出问题、前言)正论(论证)⇒结论(明确结论)【多用于论说文】
- ②开端⇒发展⇒结局【多用于小说】
- ③开头⇒正文⇒结尾【多用于书信】
- ④标题⇒简述⇒正文【多用于新闻报道】
- ⑤前言⇒说明⇒归纳【多用于说明文】

3. 四段式(起承转结)

- ①起(序论)⇒承(发展)⇒转(转换)⇒结(解决)【多用于剧本】
- ②序论⇒说明⇒强调⇒结论【多用于论说文】
- (正 文)
- ③开端⇒发展⇒高潮⇒结局【多用于小说、叙述文】

※ 练习问题

1. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

手の指先を見ると、細かいすじがたくさん並んでいるのが分かる。これが指紋である。指紋は汗が出る汗腺が、盛り上がり、互いにつながり合ったものである。指紋はすべての人、すべての指で違っている。また、一生変わることもない。だから、「この指紋のあとが、動かぬ証拠だ」と、推理小説で犯人を捕まえる時によく持ち出される。

では、指紋は何のためにあるのだろうか。

指先がざらざらしていれば、摩擦がおおきくなって、物をつかんだ時のすべり止めになる。また、指紋の盛り上がったところには、感触に関係のある神経の末端が来ている。

このように、指紋の役目には、物をつかみやすくすることと、指先の感触を強めることの二つがあるのである。

【語句注釈】

- 1.「細かいすじ(こまかいすじ)」= 细纹
- 2.「汗が出る(あせがでる)」= 出汗



- 3.「盛り上がる(もりあがる)」＝突起，隆起
- 4.「つながり合う(つながりあう)」＝相互连接
- 5.「動かぬ証拠(うごかぬしょうこ)」＝铁证
- 6.「すべり止め(すべりどめ)」＝防滑

【問い】この文章の中で、筆者は問題を提起している。問題提起をしている文は、1～10のうちのどれか。また、提起した問題に対する答えを示している文は1～10のどれか。

- 1.手の指先を見ると、細かいすじがたくさん並んでいるのが分かる。
- 2.これが指紋である。
- 3.指紋は汗が出る汗腺が、盛り上がり、互いにつながり合ったものである。
- 4.指紋はすべての人、すべての指で違っている。
- 5.また、一生変わることもない。
- 6.だから、「この指紋のあとが、動かぬ証拠だ」と、推理小説で犯人を捕まえる時によく持ち出される。
- 7.では、指紋は何のためにあるのだろうか。
- 8.指先がざらざらしていれば、摩擦がおおきくなって、物をつかんだ時のすべり止めになる。
- 9.また、指紋の盛り上がったところには、感触に関係のある神経の末端が来ている。
- 10.このように、指紋の役目には、物をつかみやすくすることと、指先の感触を強めることの二つがあるのである。

2. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

押入れを整理していたら、高校時代の文庫本が出てきた。芥川龍之介、小林秀雄、太宰治、志賀直哉…。よくまあ、こんなに漢字だらけのものを次から次へと読んでいたものだ。

ページをめくるうちに読後の感動がよみがえってきた。状況が目前に浮かび上がり、主人公の葛藤が伝わってくる。人は自分の感情にぴったりの表現が見つからないと、物足りない思いをする。だから、適切な言葉、簡潔な文章に出会えると感動するのだろう。

最近、若い人の言葉が槍玉にあげられる。

「むなしい、せつない、つらい、悲しい、いとしい、焦る、後ろめたい、悔しい、惜しい」などの微妙な心の揺れが、愛昧な一言で済まされる。

テレビが家族の中心になっているような日常生活だが、テレビの表現は視覚に訴えるものだから、繊細な言語表現は学べない。時間を忘れて読みふけた本こそが、豊富な言葉を教えてくれ、思考の手助けをしてくれるのではないか。

【語句注釈】

- 1.「次から次へと(つぎからつぎへと)」＝连续不断地
- 2.「ページをめくる」＝翻书(页)



- 3.「感動がよみがえる(かんどうがよみがえる)」= 再次深受感动
- 4.「浮び上がる(うかびあがる)」= 浮现在眼前
- 5.「葛藤(かつとう)」= 纠葛
- 6.「物足りない(ものたりない)」= 感觉不满足
- 7.「槍玉にあげる(やりだまにあげる)」= 受到批评, 谴责
- 8.「手助け(てだすけ)」= 帮助
- 9.「繊細な言語表現(せんさいなげんごひょうげん)」= 细腻的语言表达
- 10.「読みふける(よみふける)」= 潜心阅读

【問い】この文章の中で、書き手の意見・感想・判断を述べている文は1~9のうちのどれか。

- 1.押入れを整理していたら、高校時代の文庫本が出てきた。芥川龍之介、小林秀雄、太宰治、志賀直哉…。
- 2.よくまあ、こんなに漢字だらけのものを次から次へと読んでいたものだ。
- 3.ページをめくるうちに読後の感動がよみがえってきた。状況が目前に浮かび上がり、主人公の葛藤が伝わってくる。
- 4.人は自分の感情にぴったりの表現が見つからないと、物足りない思いをする。
- 5.だから、適切な言葉、簡潔な文章に出会うと感動するのだろう。
- 6.最近、若い人の言葉が槍玉にあげられる。
- 7.「むなしい、せつない、つらい、悲しい、いとしい、焦る、後ろめたい、悔しい、惜しい」などの微妙な心の揺れが、「愛昧な」の一言で済まされる。
- 8.テレビが家族の中心になっているような日常生活だが、テレビの表現は視覚に訴えるものだから、繊細な言語表現は学べない。
- 9.時間を忘れて読みふけた本こそが、豊富な言葉を教えてくれ、思考の手助けをしてくれるのではないか。

3. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

日本は寒い国か、それとも暑い国か、という議論が話題を呼んだことがある。それは1950年代の半ば、国際的に見て発展途上中の、輸入超過時代だった。外国へ向けて日本という国の宣伝をする必要があったのである。その時、外務省は「寒い国」を強調すべきだとし、運輸省は「暑い国」を宣伝すべきだとした。その理由として、外務省は、日本のイメージを亜熱帯の農業国ではなく、欧米並みに寒い工業国であるとするべきだとし、運輸省はシーズンオフの冬の観光誘致をねらい、欧米の冬の曇天と違った太平洋側の晴天、温暖な気候を強調し、冬知らずの日本はこの時期の国際会議にはうってつけだと宣伝したのである。

双方の言い分にはどちらも一理ある。実は日本は「寒くて暑い国」なのだ。こういった議論が起こること自体が、日本の気候の特徴を表していると言える。

人間のものの考え方には“森林の思考”、“砂漠の思考”というものがあるが、日本の



ように雨が多く、森林がよく育つ文化の国では、情緒的かつ短期思考型となり、エジプトのように雨が少なくピラミッドに象徴される石の文化の国では、一つの判断の誤りが死を意味することにもなるため、冷厳で長期的な思考になるというのである。日本人の考え方はとかく優柔不断で曖昧さが残るとされるのは、お天気のほうも、暑くて寒い、どっちつかずのところがあるせいかもしれない。

【語句注釈】

1. 「欧米並みに（おうべいなみに）」＝ 与欧美媲美
2. 「シーズンオフ」＝ 过时，过季
3. 「観光誘致（かんこうゆうち）」＝ 招揽游客
4. 「うってつけ」＝ 适合
5. 「エジプト」＝ 埃及
6. 「ピラミッド」＝ 金字塔
7. 「優柔不断（ゆうじゅうふだん）」＝ 优柔寡断
8. 「どっちつかず」＝ 不倾向任何一方

【問い】 この文章の中で、筆者の意見・感想・判断ではなく、事実（過去や現実にあること）だけを述べている文は1～10のうちのどれか。

1. 日本は寒い国か、それとも暑い国か、という議論が話題を呼んだことがある。
2. それは1950年代の半ば、国際的に見て発展途上中の、輸入超過時代だった。
3. 外国へ向けて日本という国の宣伝をする必要があったのである。
4. その時、外務省は「寒い国」を強調すべきだとし、運輸省は「暑い国」を宣伝すべきだとした。
5. その理由として、外務省は、日本のイメージを亜熱帯の農業国ではなく、欧米並みに寒い工業国であるとするべきだとし、運輸省はシーズンオフの冬の観光誘致をねらい、欧米の冬の曇天と違った太平洋側の晴天、温暖な気候を強調し、冬知らずの日本はこの時期の国際会議にはうってつけだと宣伝したのである。
6. 双方の言い分にはどちらも一理ある。
7. 実は日本は「寒くて暑い国」なのだ。
8. こういった議論が起こること自体が、日本の気候の特徴を表していると言える。
9. 人間のものの考え方には“森林の思考”、“砂漠の思考”というものがあるが、日本のように雨が多く、森林がよく育つ文化の国では、情緒的かつ短期思考型となり、エジプトのように雨が少なくピラミッドに象徴される石の文化の国では、一つの判断の誤りが死を意味することにもなるため、冷厳で長期的な思考になるというのである。
10. 日本人の考え方はとかく優柔不断で曖昧さが残るとされるのは、お天気のほうも、暑くて寒い、どっちつかずのところがあるせいかもしれない。

4. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

①目は、外界の情報を伝えてくれる大切な器官です。②ところで、人間だけでなく、動物はみんな目を二つ持っています。③目はどうして二つ必要なのでしょう。④実験をしてみ



ましょう。⑤本を、背表紙がこちらになるように持って、目の前五十センチほどのところにかざします。⑥はじめに、左目をつぶってみましょう。⑦本の背表紙より左側の面がよく見えます。次に右目をつぶってください。⑧背表紙より右側の面がよく見えるはずです。

⑨このように、同じものを見ても、右の目に映る像と左の目に映る像は、ほんの少しですが、違っているのです。⑩このほんの少し違った二つの像を、脳が組み合わせて、一つの像にまとめることによって、遠近感や立体感が生まれてくるのです。⑪片方の目だけでも、物の色や形は見分けることができます。⑫けれど、物の遠近感や立体感を正確に見分けるには、二つの目が必要です。

【語句注釈】

1. 「ほんの少し(ほんのすこし)」= 微少
2. 「組み合わせる(くみあわせる)」= 組合, 搭配
3. 「見分ける(みわける)」= 区分

【問い】 この文章の中には、問題を提起している文、提起された問題の解答を示す文、解答の内容を詳しく説明している文がある。それぞれに属する文はどれか。記号で答えなさい。

1. 問題を提起している文: ()
2. 提起された問題の解答を示す文: ()
3. 解答の内容を詳しく説明している文: ()

5. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

①お中元のシーズン、今年も隣近所の荷物を預かったり、預かってもらったりした。②しかし、今年はちょっと困ったことが起きた。

③旅行中のお隣の荷物を預かったのだが、お隣が、受け取りに来られた時に、中が割れていたのだ。④いつ割れたのかも分からない。⑤お隣は、「気にしないでください」と言ってくれたが、非常に後味が悪かった。

⑥近所の人に荷物を預けた宅配会社は、本来の受取人に、荷物を完全に届けなければ契約を履行したことになる。⑦ただ預けて帰るだけでは、最後まで責任を持って配達したとは言えないだろう。

⑧そこで私は、荷物を隣近所に預けなくてもいいように、配達前に在宅の確認をすることを提案する。⑨そして、近所に預けて帰ったときでも、後で受け取りの確認をしてほしい。

【語句注釈】

1. 「お中元(おちゅうげん)」= 中元节
2. 「預かる(あずかる)」= 寄存, 存放
3. 「割れる(われる)」= 破碎
4. 「気にする(きにする)」= 担心
5. 「後味が悪い(あとあじがわるい)」= 事后心里不是滋味